

「作る企業」から「創る企業」へ

岐阜製版株式会社

代表取締役社長 鈴木 岳志氏



時代の変化と製版業

デジタル技術の進歩が世の中に大きな変化をもたらし、その影響は近年ますます大きくなっています。そして今、商いという意味での製版業が単純には成り立たない時代を迎えました。今から15年前、私は父の跡を継いで当社の代表取締役社長に就任しました。当時は、製版会社の売上げの大部分が印刷マーケットからの受注で成り立っており、職人が匠の技を競っていた時代で、製版業界全体がその居心地の良さからなかなか脱却出来ず

にいたのを記憶しております。

技術革新を味方に

しかし、そうしたある意味古き良き時代も、故ステイプ・ジョブズ氏率いるApple社が開発したMacintoshの出現により、変革を余儀なくされる事となります。当社の主力収益源であった色調の職人技術はフォトショップでのカラーマネジメントに、スキヤニング技術はデジタルカメラのデータへ、レタッチ技術はDTPへと置き換えられるなど、明らかに

デジタル技術のイノベーションに直面していました。そこで必要だったのは、新しい技術革新に対して、それまでのやり方にこだわって対決・対立するのではなく、むしろ技術革新を味方にして利用・活用する事でした。新しいサービスとお客様のニ



▲時代の流れを乗り越えて、製版業から「変化対応業」への変革に日々挑戦し続ける鈴木社長。

「今」もまた変化の時

ズにどう応えていけるのかを考えなければなりませんでした。



▲価値あるパートナーとして、総合的なコミュニケーションデザインを提供しています。

これは現代にもそのまま当てはまります。スマートフォン等のモバイルデバイス、ソーシャル・ネットワーキング・サービスの発達によってコミュニケーションの形は急激に変わりつつあり、そこから生まれる新しいニーズには、私たちの業界も無関心ではられません。私たちは、そうした時代の流れを乗り越え、製版業から「変化対応業」への変革に取り組んでいます。

「変革」と「挑戦」

具体的には、まず職人氣質の強い閉鎖的な社風を改善するために、社内の売上高の構成、粗利益、営業利益、経常利益に至るあらゆる数字について聖域を設けず社員と共有を図っています。また、デザイン制作部とデ

ジタルカメラスタジオの新設、そしてアプリケーション開発まで、お客様の要望を積極的に受け止めながら業態変革に取り組んでおります。さらに、少数チーム制を採用し、チーム同士の横の連携を強化する事で、お客様の好み、要望、独自のノウハウに関するミニマムな情報、豊橋・名古屋・東京・大阪と岐阜製版グループ全体に大きく、速やかに共有される仕組みを目指しています。

自問自答の答え

そもそも製版業とは一体全体何なのか？自問自答してみるにつけ、アナログであろうがデジタ

ルであろうが、ただ単に色をつけたたり直したり、デザイン・レイアウトしたりする事ではなく、お客様の「手間のかかる、面倒くさい」を代行し続ける事こそが原点であると思い至りました。そうした視点に立った時、私たちにとって最も大切なのは、印刷物を安く作成することよりも、作成した印刷物がいかにお客様のご商売に効果を上げ、価値を高められるかという事ではないかと思えてなりません。これからも、当社ではお客様に選ばれる価値ある企業創りと、時代に合わせた新しい価値を創造してまいります。

Company Data

岐阜製版株式会社

所在地 ●岐阜市長良福田町1-30
電話 ●058-233-1313
FAX ●058-233-6248
業種 ●写真製版業・印刷及び出版業・広告代理業 他
グループ会社
●豊橋製版(株)、名古屋支社、東京支社、東京デザインルーム、大阪支店、(株)ロイヤル・クリエイト